

九州国際大学研究者情報

基本情報

所属	学部 学科	氏名	西村 知晃 Nishimura Tomoaki
職名	准教授	E-mail	t-nishimura@cb.kiu.ac.jp
		ホームページ	

■ 学歴・取得学位

1999(平成11)年3月	一橋大学商学部経営学科卒業 経営学学士
2011(平成23)年3月	神戸大学大学院経営学研究科博士前期課程修了 修士(経営学)
2016(平成28)年3月	神戸大学大学院経営学研究科博士後期課程修了 単位取得満期退学

■ 主な職歴

1999(平成11)年4月	三菱マテリアル株式会社(人事部門)
2014(平成26)年4月	名古屋石田学園 星城大学 専任講師
2019(平成31)年4月	田村学園 多摩大学 准教授
2021(令和3)年9月	九州国際大学 准教授

教育活動

■ 主な担当授業科目

○ 学部：人的資源管理論、ビジネス・リーダーシップ論、専門演習、卒業研究、キャリアデザイン、キャリアプラン実践、インターンシップ
--

■ 教育上の特記事項

○ 免許・資格：社会保険労務士(2002年取得)
○ 企業実務：三菱マテリアル株式会社 人事部門(1999~2009年) (給与・賞与・退職金制度、採用、社員教育、対労折衝、地元関係構築等)

研究活動

■ 研究分野

研究分野	経営学(組織行動論、人的資源管理論)
主な研究テーマ	経営理念と組織文化、デジタル人材育成と組織の風土 (心理的安全性)、高齢化とレジリエンス
キーワード	経営理念、組織文化、組織風土

■ 主な著書・論文等

論文

- 「新卒採用者と中途採用者の組織社会化と革新行動—組織内・組織間移動に着眼した実証分析—」(小泉大輔・鴻巣忠司との共著) 2013年、神戸大学大学院経営学研究科ディスカッションペーパーシリーズ, 2013-20.
- 「経営理念に対して差異化する意味の調整を図るマネジメントの探究—資生堂社・美容部門の中国事業における事例から—」(単著) 2013年、組織学会 2014年度ドクトラル・コンソーシアム査読付報告論文
- 「使用するレジリエンス研究:「形状記憶物質」「治療」「物語」としてのレジリエンス」(福本俊樹・中原 翔・金井壽宏との共著) 2018年、『日本情報経営学会誌』Vol. 37, No.3, pp.15-26.
- 「経営理念浸透施策に対する従業員の知覚と施策改善」(単著) 2021年、『経営情報研究』No. 25, pp.167-176.
- 「JCOM:ミドルアップダウンによるRPAの導入プロセス」(犬飼知徳・寺畑正英・上小城伸幸との共著) 2021年、『一橋ビジネスレビュー』, Vol.69, No.2, pp.160-172.
- 「レジリエンスを体現したナラティブの形成による高齢者のレジリエンス向上・心的活性化に関する研究」(増田浩通・小林英夫との共著) 2022年、『経営情報研究』No. 26, pp. 195-199.
- 「経営理念浸透施策に対する従業員の知覚と理念共有」(単著) 2022年、『国際・経済論集』No. 9.

学会発表

- 「海外現地法人における経営理念共有のマネジメントに関する一考察」(単著) 2013年、日本労務学会第43回全国大会、研究報告
- 「RPAによる組織変革メカニズムの探究」(犬飼知徳・寺畑正英・上小城伸幸との共著) 2021年、組織学会 2021年度研究発表大会、研究報告
- 「心理的安全性の組織内における越境的形成とRPA推進」(犬飼知徳・寺畑正英・上小城伸幸との共著) 2021年、2021年日本経営学会第95回大会、自由論題

■ 主な所属学会

組織学会、日本経営学会、日本労務学会、経営行動科学学会

■ 受賞等

2011(平成23)年11月	経営行動科学学会 第14回年次大会 大会優秀賞
2013(平成25)年6月	組織学会 研究発表大会 ドクトラル・コンソーシアム参加選抜
2013(平成25)年7月	日本労務学会 学会賞(研究奨励賞)

■ 研究助成金による研究

- 「国際経営における経営理念共有の実態と理念共感のマネジメントに関する研究」、科研費(基盤研究C 研究者番号: 60736742、課題番号: 17K03975)

社会における活動等

- おおぶアカデミー『リーダーシップとは何か再考する』(愛知県大府市)
- T-Studio 公開講座『経営理念～その誕生、機能、浸透と共有への課題～』(多摩大学)

○ T-Studio 公開講座『企業の RPA（業務自動化ロボット）による DX 推進事例と組織学習』（多摩大学）

大学運営活動等

○ 就職対策委員会

2022 年 4 月～現在